

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	014026	事務事業名	水産業振興一般事務費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅶ 産業・観光	節(まちの姿)	Ⅶ1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅶ13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 水産物の消費拡大			【 水産業の振興 】 20.10%	
	推進施策の展開	「周南さかなまつり」等を通じて地場水産物の新鮮さや味をPRし、地産地消の取り組みや魚食普及活動により消費の拡大を図ります。			25年度市民評価の満足度	
					【 水産業の振興 】 29.20%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民	意図(どういう状態にしたい): 安心安全な地産地消運動の推進と魚等の栄養特性の広報活動を進め、食文化の伝承や食生活指針の指導等、全体的に取組む団体に負担することで、市民の健康生活の維持推進に資することができる。また、「つくり育てる漁業」を推進するため、地域栽培漁業推進協議会に積極的に関わる。		事業の内容 (手段)	水産物の消費拡大を推進するため、魚食の普及啓発を行う。水産物消費拡大運動推進協議会から補助金を受け実施するものとして、学校給食への水産物食材の提供やお魚料理教室を実施する。また、水産業の理解を深めてもらうため、市内小学校を対象とした「栽培漁業について」の出前講座を実施する。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	水産物の消費拡大を推進するため、山口県水産物消費拡大運動推進協議会に負担金を交付し、学校給食への水産物食材の提供やお魚料理教室を実施した。また、水産業の理解を深めてもらうため、市内小学校を対象とした「栽培漁業について」の出前講座を実施した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	78	99	99	999		999						
事業目標	目標名	出前講座等の開催回数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	71	92	92	992	992
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	78	99			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	5.0	6.0	6.0	8.0	8.0	(決算額)	うち一財	千円	72	92			
	実績値	4.0	5.0	8.0			正職員人件費	千円	2,198	1,479				
	達成度(%)	80.0%	83.3%	133.3%			人工数	人	0.30	0.20	0.10			
							支出コスト	千円	決) 2,276	決見) 1,578				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	山口県水産物消費拡大推進運動協議会負担金 (経常的事務事業)	市民	学校給食への水産物食材提供。食生活改善推進員を対象とした魚料理教室を開催する。	水産物の消費拡大を図るとともに、地物水産物市場取扱量の増加を図る。	熊毛給食センターが提供する小中学校6校への魚食の提供及び魚の料理教室を徳山、新南陽、熊毛、鹿野地域で4回開催	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
				<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他	細事業評価									
		水産物の消費拡大を推進するため必要な事業である。												
	B	改善案	水産物の消費拡大を図るためには、学校給食へ提供する魚食のコストを拡大する必要がある。											
②	栽培漁業についての出前講座 (ソフト事業)	小学校児童	下松市栽培漁業センターの栽培漁業について研修し、地域水産業に対する理解を深める。	小学生への研修を通じて、地物水産物への関心を高め、水産物の消費拡大を図る。	市内の小学校3校で栽培漁業の出前講座を開催			0.1		21		否	否	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他	細事業評価										
	水産物の消費拡大を推進するため必要な事業である。													
B	改善案	出前講座を通じて栽培漁業への理解は深められるが、地物水産物の消費拡大につなげるための検証を要する。												

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	水産物消費拡大運動推進協議会の主な事業である学校給食への県内産水産物の利用促進を図るため、H25年度から学校給食への水産物食材の提供を開始した。また、H26年度から小学校児童を対象とした栽培漁業についての出前講座を開始した。	前年度までの指摘事項	協議会の事業内容が水産物の消費拡大に有効であるか検証しつつ、協議会へ負担の軽減や事業改善について働きかける。	指摘事項に対する改善状況	協議会から支払われる魚食普及活動費を学校給食への食材提供のみに充てた。
	細事業の課題・問題点	子供たちの魚食離れが進む中、水産物の学校給食への活用は必要であるが、コスト面等の問題から学校給食での消費拡大は難しい状況である。また、いかに地物水産物への関心が高まるかについて検証する必要がある。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	食料自給率の向上や水産業の振興、また、食事バランスにおける水産物の重要性を広くアピールするためにも必要である。	改善案	協議会に対し負担金の軽減を要望しつつ、事業を継続する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 協議会の事業内容が水産物の消費拡大に有効であるか検証しつつ、協議会へ負担の軽減や事業改善について働きかける。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700303
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(3)水産物の消費拡大

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
漁協等強化育成事業として実施していた周南漁業無線協会への負担金を本事業に組み替える。(900千円増)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	741005	事務事業名	赤潮等漁業被害対策事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)水産物の生産拡大			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	漁業近代化資金の活用、赤潮等漁業被害対策等の実施により、漁家や漁協等の漁業経営基盤の強化を図ります。			25年度市民評価の満足度	
		【 水産業の振興 】	29.20%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 漁業者、市民	意図(どういう状態にしたい): 赤潮発生時における魚介類の鮮度保持並びに活魚の需給調整を図り、赤潮被害の防止と共に活魚の適切な管理と安定出荷に資する。	事業の内容 (手段)	水産物の安定供給と漁家の経営安定化を図るための施設管理として、海水井戸の点検等の維持管理、イクス内の散気管設備等の修繕を実施する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	イクス内及び海水井戸の適切な維持管理により、魚介類を赤潮被害から防ぐとともに水産物の鮮度保持を実施した。また、イクスへの海水供給の効率を上げるため、給水ポンプを井戸付近に移設した。					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	1,592	1,961	2,211		1,476	1,500					
事業目標	目標名	赤潮被害発生件数	計算式	記録・聞き取り	単位	件	(予算額) うち一財	千円	1,592	1,961	2,211	1,476	1,500
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,567	1,416		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(決算額) うち一財	千円	1,567	1,416			
	実績値	0.0	0.0	0.0			正職員人件費	千円	733	740			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.10	0.10	0.30		
							支出コスト	千円	決) 2,300	決見) 2,156			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	①	赤潮等漁業被害対策事業 (施設等管理運営事業)	漁業者、市民	頻繁に発生する赤潮に対応するとともに地物活魚の安定供給を図る。	櫛ヶ浜イクスの適正な維持管理	井戸ポンプ等の点検(毎月)、配管清掃、散気管修繕等により赤潮被害の発生なし。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
							0.1		1,416	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設の老朽化等に伴う維持管理コストが増加している。特に、給水に必要な海水量が不足傾向にあり、新しい井戸を掘削する必要が発生している。					B	改善案	清掃及び修繕コストの削減に努め、効率的で適正な施設管理の運営を図る。				
②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
④														
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	当初から、修繕料、海水運搬費の削減を行ってきたが、20年度に海水井戸を使用開始。赤潮に左右されない環境となった。現在塩分濃度、水温等を定期的に記録し、慎重に運用している。	前年度までの指摘事項	赤潮対策に重要な施設であるが、受益者による管理委託等について検討する。	指摘事項に対する改善状況	引き続き、効率的な管理・運営に努める。
	細事業の課題・問題点	施設の老朽化に伴い維持管理費が年々増加する傾向である。特に、井戸の老朽化や配管のつまり等による海水の汲み上げ能力が年々悪化している。施設改修等による抜本的改善を検討しつつ、効率的な維持管理を実施する。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	効率的な維持管理に努め、赤潮被害の軽減及び魚介類の鮮度保持に寄与する。	改善案	清掃及び修繕コストの削減に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 赤潮対策に重要な施設であるが、受益者による管理委託等について検討する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700302
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(2)水産物の生産拡大

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
老朽化したイクス内配管の更新が完了したことにより、長期修繕コストを縮減。(△735千円)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	741008	事務事業名	沿岸漁場整備開発事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)水産物の生産拡大			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	資源管理型漁業の促進や稚魚の放流により、「獲る漁業」から「つくり育てる漁業」への移行を推進します。			25年度市民評価の満足度	【 水産業の振興 】 29.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 漁業者、市民	意図(どういう状態にしたい): 石材礁を天然礁や既存魚礁と一体的に設置し、効果的な漁場整備を行うことで水産資源の増殖を図る。	事業の内容 (手段)	共同漁業権第77号海域に、石材礁を設置する県事業に対する負担金。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	共同漁業権第77号海域5箇所に石材礁を設置する県事業に対する負担金であるが、26年度においては、テストのみが行なわれ、本体工事は27年度への繰越事業となる。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費		千円	7,616	7,616	7,616		2,479						
事業目標	目標名	石材漁礁等設置数	計算式	記録及び県からの聞き取り	単位	箇所	(予算額) うち一財	千円	816	816	816			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	17,863	1,361		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	3.0	5.0	4.0	3.0	0.0	(決算額) うち一財	千円	5,863	161		沿岸漁場整備開発事業が平成28年度完了のため		
	実績値	3.0	5.0	0.0			正職員人件費	千円	733	740				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	0.0%			人工数	人	0.10	0.10	0.10			
							支出コスト	千円	決) 18,596	決見) 2,101				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	沿岸漁場整備開発事業 (施設等整備事業)	漁業者、市民	効果的な漁場整備を行うことで水産資源の増殖を図る。	県事業に対する負担金の支払い	県事業に対する負担金であるが、国庫支出金の配分が予定どおり交付されず、26年度分は繰越したため未達となる。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	水産資源の維持・増加等の検証が難しい。						B	改善案	県との十分な協議により事業の有効性を確認する。					
②														
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	H21年度まで角型コンクリート魚礁を設置し、H22年度からは県の内海中部地区水域環境保全創造事業として、藻場の造成を目的とした石材魚礁設置事業に対し、負担金を支払う。	前年度までの指摘事項	事業主体が県であるが、実施場所等について十分協議する。	指摘事項に対する改善状況	引き続き実施計画として、事業を実施する。
	細事業の課題・問題点	県事業に対する負担金であるが、県と十分な協議を図り、事業の有効性を確認・検証する必要がある。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	県事業であるため事業効果の実証が難しいが、実施場所等について引き続き協議・検討する。	改善案	県と協議・検討し、事業を継続する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 事業主体が県であるが、実施場所等について十分協議する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700302
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(2)水産物の生産拡大

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
沿岸漁場整備開発事業が平成28年度完了のため

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	741011	事務事業名	増養殖稚魚等放流事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)水産物の生産拡大			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	資源管理型漁業の促進や稚魚の放流により、「獲る漁業」から「つくり育てる漁業」への移行を推進します。			25年度市民評価の満足度	
		【 水産業の振興 】	29.20%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 漁業者、市民	意図(どういう状態にしたい): 稚魚等の種苗を放流することで水産資源の枯渇化を防止すると共に、栽培漁業の定着化を促進し、漁業生産の安定向上と水産資源の増大を図る。	事業の内容 (手段)	キジハタ、トラフグ等の稚魚放流		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	H26年度において、キジハタ、トラフグ等9魚種の稚魚を放流した。また、「つくり育てる漁業」を推進するため、地域栽培漁業推進協議会に対し負担金を交付した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	10,643	9,593	9,578	9,578		9,578						
事業目標	目標名	周南市の漁獲量	計算式	海面漁業生産統計調査から	単位	t	(予算額)	うち一財	千円	10,643	9,593	9,578	9,578	9,578
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	10,600	9,557		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	2,200.0	2,200.0	2,200.0	2,200.0	2,200.0	(決算額)	うち一財	千円	10,600	9,557			
	実績値	1,379.0	1,189.0	1,140.0			正職員人件費	千円	5,860	2,219				
	達成度(%)	62.7%	54.0%	51.8%			人工数	人	0.80	0.30	0.30			
							支出コスト	千円	決) 16,460	決見) 11,776				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	種苗放流事業 (ソフト事業)	漁業者、市民	漁業生産の向上と水産資源の増大を図る	適正な種苗放流	キジハタ、トラフグ等の稚魚放流	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.2		8,157	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 水産資源量等の増加の有効性を示しにくい。					B	改善案	放流効果を検証しつつ漁協と連携し効果的な放流を実施する。					
	②	周南地域栽培漁業推進協議会負担金 (経常的事務事業)	漁業者	周南地域栽培漁業推進協議会に対する負担金交付	負担金交付	負担金(1,400千円)を交付	0.1		1,400	否	否			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 補助金交付による費用対効果を示しにくい。					B	改善案	内水面漁協に対し負担軽減を要望していく。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
	細事業の課題							改善案					
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成21年度からアサリの稚貝放流を藻場・干潟保全活動支援事業で実施することとしたため、全体の量が大きく減少した。	前年度までの指摘事項	キジハタやトラフグなどのブランド化につながる魚種の選定等、漁獲量等を検証しつつ効果的な放流に努める。	指摘事項に対する改善状況	引き続き実施計画として、事業を実施する。
	細事業の課題・問題点	種苗放流事業は、現在、9魚種約27.7万尾・個を放流しているが、成果指標である市の漁獲量は他魚種も計上されており、放流効果を把握することが困難である。今後は、漁協との連携により放流魚種の水揚げ状況を確認するなどし、放流効果の検証に努め、魚種の絞り込み等によるメリハリのある放流を実践する必要があるが、漁協の意向が優先されるケースが多い。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	資源管理型水産業には種苗放流は必要不可欠である。水産資源の確保及び水産業の推進に向けて効果的な放流を継続する。	改善案	魚種の絞り込みや放流適地の検証等による、効果的な放流を実施する。
----	---	--	------	---	-----	----------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	キジハタやトラフグなどのブランド化につながる魚種の選定等、漁獲量等を検証しつつ効果的な放流に努める。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	700302
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(2)水産物の生産拡大

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

事業目標の「周南市の漁獲量」は周南市水産物市場の取扱量を指標としているが、漁業者の減少、ふぐ等の他市場に水揚げされる漁獲量が含まれないことなど、成果を求めづらい指標となっている。今後は水産資源の回復は引き続き目的とするが、目標指標を漁家の所得の強化に置き換えて、事業を実施していきたい。

備考

備考	
----	--



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	741012	事務事業名	漁業生産基盤整備事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)水産物の生産拡大			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	資源管理型漁業の促進や稚魚の放流により、「獲る漁業」から「つくり育てる漁業」への移行を推進します。			25年度市民評価の満足度	【 水産業の振興 】 29.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 漁業者、市民	意図(どういう状態にしたい): 戸田地先の近海において、タコの産卵床用たこつぼを沈設することで、戸田産たこの資源確保と生産拡大を図る。	事業の内容 (手段)	戸田・大津島地区近海で産卵用の素焼きたこつぼ4,000個を地元漁業者の漁船より投入し、漁獲増を図るとともに周南ブランドである「周南たこ」のPRを図る。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	9月24日、戸田・大津島の近海に3900個の産卵用たこつぼを沈設。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円		1,500	1,501	1,502
事業目標	目標名	たこつぼの沈設数	計算式	たこつぼの購入数	単位	個	(予算額) うち一財	千円	1,050	1,051	1,052	1,051	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,500		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値			4,000.0	4,000.0	4,000.0	(決算額) うち一財	千円	1,050				
	実績値			3,900.0			正職員人件費	千円		2,219			
	達成度(%)			97.5%			人工数	人		0.30	0.10		
							支出コスト	千円	決) 0	決見) 3,719			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否				
	① 漁業生産基盤整備事業 (施設等整備事業)		漁業者、市民	戸田産タコの資源確保と生産拡大	安定したタコの産卵漁礁の確保	たこつぼを引き上げて産卵状況を確認するモニタリング調査では、調査箇所3箇所全てで産卵を確認できた。	正職員 0.3 臨時等	直接事業費 1,500	委託 否	臨時嘱託 否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 たこつぼの単価の変動による個数の減少が懸念される			B	改善案	たこの漁獲量の推移を検証しながら、事業の有効性を確認する。					
	②												
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	今後効果を検証していく。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	タコツボ漁は重労働であり高齢化が進む中、地元漁業者から漁獲効率を上げるための資源量の増大が求められている。今後、たこつぼ沈設により漁獲量に変化があるか、適正に検証していく必要がある。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	たこつぼの単価が上昇したため、計画数を下回った。	改善案	沈設箇所の検証を行いながら、事業を有効的に行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B たこの漁獲増の検証を行うとともに、周南ブランドである「周南たこ」のPRを図る。。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700302
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(2)水産物の生産拡大

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
漁業者、漁協と連携し、効果のある事業を引き続き実施する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	741014	事務事業名	内水面増養殖事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)水産物の生産拡大			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	資源管理型漁業の促進や稚魚の放流により、「獲る漁業」から「つくり育てる漁業」への移行を推進します。			25年度市民評価の満足度	
		【 水産業の振興 】	29.20%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 漁業者、市民	意図(どういう状態にしたい): アユの稚魚放流、及び内水面漁協への事業費補助を実施することで、内水面漁業の生産力の維持増大を図る。	事業の内容 (手段)	佐波川水系和田地区、錦川水系鹿野、大向、長穂、及び島田川水系に稚アユを放流。錦川上流漁業協同組合に対しては、放流事業費として補助金を交付。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	錦川上流水系、錦川水系(三須漁協)、島田川、佐波川水系において稚アユ102.5kgを放流、錦川漁業協同組合補助金450,000円を交付						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	860	860	860	860		860	860					
事業目標	目標名	受入遊漁件数	計算式	総会資料から		単位	件	(予算額) うち一財	千円	860	860	860	860	860
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	860	860		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	(決算額) うち一財	千円	860	860				
	実績値	30.0	30.0	20.0			正職員人件費	千円	1,465	1,479				
	達成度(%)	60.0%	60.0%	40.0%			人工数	人	0.20	0.20	0.10			
							支出コスト	千円	決) 2,325	決見) 2,339				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	種苗放流事業 (ソフト事業)	内水面漁業者、市民	漁業生産の向上と水産資源の増大を図る	適正な種苗放流	アユの稚魚放流	正職員 0.1 臨時等	直接事業費 410	委託 否	臨時嘱託 否				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 水産資源量等の増加の有効性を示しにくい。						細事業評価							
	B	改善案	放流効果を検証しつつ漁協と連携し効果的な放流を実施する。											
	②	錦川上流漁業協同組合補助金 (経常的事務事業)	内水面漁業者	錦川上流漁業協同組合に対する負担金交付	補助金交付	補助金(450千円)を交付	0.1	450	否	否				
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 補助金交付による費用対効果を示しにくい。						細事業評価								
B	改善案	内水面漁協に対し負担軽減を要望していく。												

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	近年、カワウ等の有害鳥獣による被害が拡大している。	前年度までの指摘事項	水産資源の確保や環境確保の視点から必要な事業であるが、県水産事務所と情報の共有化を図り、放流効果等の状況把握に努める。	指摘事項に対する改善状況	放流事業等に対する支援を継続する。
	細事業の課題・問題点	内水面漁業においては、近年、カワウ等の有害鳥獣による被害により、水産資源が激減しているが、錦川上流、三須、島田川、佐波川の4漁協においてもアユ等の漁獲量の把握は困難であり、放流効果等の状況把握が難しい。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	内水面漁業振興の効果を検証しながら事業を継続する。	改善案	費用対効果を検証し効果的な事業を展開する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 水産資源の確保や環境確保の視点から必要な事業であるが、県水産事務所と情報の共有化を図り、放流効果等の状況把握に努める。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700302
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(2)水産物の生産拡大

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
変更なし

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	741017	事務事業名	漁業金融対策事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)水産物の生産拡大			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	漁業近代化資金の活用、赤潮等漁業被害対策等の実施により、漁家や漁協等の経営基盤の強化を図ります。			25年度市民評価の満足度	【 水産業の振興 】 29.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 漁業者	意図(どういう状態にしたい): 漁家経営の近代化及び安定化に対する支援。	事業の内容 (手段)	近代化資金利子補給=漁業者資本整備の高度化、近代化に必要な資金融資に利子補給する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	近代化利子補給件数:13件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	356	370	386	334	386
事業目標	目標名	年間利子補給件数	計算式	補助申請書から		単位	件	(予算額) うち一財	千円	338	360	383	334	386
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	161	132		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	(決算額) うち一財	千円	143	122				
	実績値	11.0	12.0	13.0			正職員人件費	千円	2,198	740				
	達成度(%)	36.7%	40.0%	43.3%			人工数	人	0.30	0.10	0.10			
							支出コスト	千円	決) 2,359	決見) 872				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	利子補給事業 (経常的事務事業)	漁業者	経営安定化のための支援	近代化資金利子補給	利子補給	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.1	0.2	132	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 漁家経営安定に向けた経済的支援策として有効である。					A	改善案	山口県の利子補給制度に沿って市町分を利子補給する。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	漁業者数の減少により利用者が年々減少している。合併漁協漁家経営安定資金利子補給についてはH23年で完了。	前年度までの指摘事項	漁家等の経営基盤強化のために必要な事業である。	指摘事項に対する改善状況	積極的なPR等により利用促進を図る。
	細事業の課題・問題点	漁業者の減少に伴い利用率が年々減少している。漁家経営の安定化に向けた利用者の増加のため県漁協と連携し効果的なPRを実施する。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	漁業弱者対策として必要性の高い事業である。	改善案	費用対効果を検証しつつ継続する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 漁家等の経営基盤強化のために必要な事業である。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700302
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(2)水産物の生産拡大

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
漁業者の減少に伴い利用率も減少している。漁家経営の安定化に向けた利用者の増加のため、県漁協と連携し効果的なPRを実施する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	741020	事務事業名	漁協等強化育成事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)水産物の生産拡大			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	沿岸及び沖合いで操業する漁船の安全及び救援等の通信連絡を業務とする海岸無線局に対し、特別会員として加入することで海難防止及び操業効率の向上を図ることができる。			25年度市民評価の満足度	
		【 水産業の振興 】	29.20%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 漁業者	意図(どういう状態にしたい): 沿岸及び沖合いで操業する漁船の安全及び生産性の向上と、不慮の事故における相互の救援等の通信連絡を業務とする海岸無線局に対し、特別会員として加入することで海難防止及び操業効率の向上を図ることができる。	事業の内容 (手段)	周南漁業無線協会に対し負担金を交付する。 周南漁業無線協会負担金:(特別会員)1口120,000円 (周南市負担)120,000×7.5口=900,000円		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	漁船の安全操業に資するため宇部地区から周防大島地区をカバーする漁業無線局(枥島)に対して運営費を補助する。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	900	900	900	0
事業目標	目標名	会員漁船局数	計算式	総会資料から	単位	局	(予算額) うち一財	千円	900	900	900	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	900	900		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	98.0	98.0	98.0	75.0	75.0	(決算額) うち一財	千円	900	900			
	実績値	79.0	75.0	72.0			正職員人件費	千円	733	740			
	達成度(%)	79.6%	76.5%	73.5%			人工数	人	0.10	0.10	0.10		
							支出コスト	千円	決) 1,633	決見) 1,640			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト		委託等の可否			
	①		負担金の交付 (経常的事務事業)	漁業者	海難事故防止及び操業効率の向上により生産の拡大を図る。	適切な負担金の交付及び事業内容の確認	負担金交付	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
							0.1		900	否	否		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 海難事故防止及び操業効率向上のため必要な事業である。				A	改善案	適切な交付金の交付及び事業内容の確認を実施する。				
②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	漁業者の高齢化等により加入者数が減少している。	前年度までの指摘事項	海難事故防止及び漁業振興のため必要な事業であるが、代替方法や負担割合について検証する。	指摘事項に対する改善状況	市の負担割合の軽減について検討する。
	細事業の課題・問題点	海上交通の安全のため必要な負担金である。今後も適切な負担金の交付を継続する。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	海上の安全確保及び操業効率向上のため、漁業無線は不可欠であり市の支援は必要である。	改善案	引き続き支援する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 海難事故防止及び漁業振興のため必要な事業であるが、代替方法や負担割合について検証する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700302
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(2)水産物の生産拡大

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成28年度から水産振興一般事務費へ組み替える。

備考



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	741023	事務事業名	ニューフィッシャー確保育成推進事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)水産物の生産拡大			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	新規就業者の確保・育成や意欲ある漁業者の経営安定対策などにより、水産業を支える担い手の確保・育成を図ります。			25年度市民評価の満足度	【 水産業の振興 】 29.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 新規漁業就業希望者	意図(どういう状態にしたい): 漁業の後継者育成対策として、研修を支援し、漁業就業者として地域に定着してもらう。	事業の内容 (手段)	・新規に市内(市外からの転入者含む)で漁業に就業しようとする者に対し、技術・知識等の習得を目的とした2年間の研修を行う。研修支援費として1人月額15万円を県と折半して補助する。 ・新規漁業就業者が経営を開始するに当たり、引き続き支援が必要な者に対し、経済的に支援することで地域の漁業者の増加と定住化を図り、水産業の振興と地域活性化に資することを目的とする。自立化支援金として、1人につき1年目は月額15万円を、県と折半して補助する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	事業開始から現在まで5名の新規漁業就業者が誕生している。(水産庁実施の研修(周南市負担なし)により、現在2名研修中)また、研修終了後、経営を開始した1名の新規漁業者に対して、経営自立化支援補助金の交付を開始した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	750	600	600	513		600						
事業目標	目標名	新規就業者数	計算式	記録から	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	750	600	600	513	600
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	525	900		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	(決算額)	うち一財	千円	525	900			
	実績値	0.0	0.0	1.0			正職員人件費	千円	733	740				
	達成度(%)	0.0%	0.0%	50.0%			人工数	人	0.10	0.10	0.30			
							支出コスト	千円	決) 1,258	決見) 1,640				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	事業PR、補助金交付 (ソフト事業)	漁業者	新規漁業就業者の増加により漁業の活性化を図る。	適切な補助金の交付及び事業内容の確認	補助金交付	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.1	0	900	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 事業制度を活用した新規就業者数が伸び悩んでいる。					B	改善案	事業スキームの拡充及び積極的なPR等により新規就業者の増加を図る。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	実際に研修を開始する就業希望者は少ないが、毎年1～2名の就業希望者からの問い合わせ等がある。	前年度までの指摘事項	漁業者の増加に向けた重要な事業である。県と連携して効果的に実施する。	指摘事項に対する改善状況	漁業者が減っている現状では有効な事業である。県と連携して効果的なPRが必要。事業スキームを拡充し、就業、定着を促進する。
	細事業の課題・問題点	新規就業フェアへの参加又は電話による問い合わせ等は結構あるが、師匠となる漁業者の人数が少ないことや専門性が高いこと等により、新規就業者数が伸び悩んでいる状況である。漁協との連携による積極的なPR等により、効果的な制度の活用を推進する。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	漁業者の高齢化対策に向けた後継者育成は漁業振興及び食料確保に寄与する重要な事業である。	改善案	漁業者が減っている現状では有効な事業である。県と連携して効果的なPRが必要。事業スキームを拡充し、就業、定着を促進する。
----	---	--	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	漁業者の増加に向けた重要な事業である。県と連携して効果的に実施する。
----	---	------------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	700301
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(1)新規就業者等の担い手の確保

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
漁師になりたい人へ向けたPRを広くしていく。また、漁具・設備等の助成など現在活用されていない制度について、漁協等と協力して、制度の周知を図る。	

備考

備考
----

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	741028	事務事業名	藻場・干潟保全活動支援事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)水産物の生産拡大			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	資源管理型漁業の促進や稚魚の放流により、「獲る漁業」から「つくり育てる漁業」への移行を推進します。			25年度市民評価の満足度	【 水産業の振興 】 29.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 漁業者、市民	意図(どういう状態にしたい): 水産資源の保護・培養や水質浄化の公益的機能の発揮を支える藻場・干潟の機能の維持・回復を図る。	事業の内容 (手段)	藻場・干潟の機能回復に向けて、漁業者グループ等の活動組織が実施する水産多面的発揮に係る活動を支援する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	周南地域干潟保全活動グループの活動支援として、アサリ種苗の現物給付を行った。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	1,650	1,150	1,164	3,777	1,150
事業目標	目標名	放流区域面積	計算式	報告書から	単位	m <sup>2</sup>	(予算額) うち一財	千円	1,500	1,000	1,014	2,617	1,000	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,649	1,150		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	6,000.0	6,000.0	6,000.0	6,000.0	6,000.0	(決算額) うち一財	千円	1,499	1,000		事業スキームの変更により、市負担が発生		
	実績値	6,000.0	6,000.0	6,000.0			正職員人件費	千円	2,198	2,219				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.30	0.30	0.10			
							支出コスト	千円	決) 3,847	決見) 3,369				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 藻場・干潟保全活動支援補助金 (ソフト事業)		漁業者	干潟の機能保全を指した水質改善	水質改善を目標としたアサリ増殖事業活動団体を支援する	活動内容の確認、活動費の一部を補助	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.3	0	1,150	否	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 アサリ漁獲量の増加の有効性を示しにくい。				B	改善案	アサリ漁獲量の増加に向けた有効な支援方法を検討する。					
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	事業内容は干潟の保全のためのアサリの種苗放流が主。今後効果を検証していく。	前年度までの指摘事項	環境保護にもつながる重要な事業と考える。引き続き関係機関との連携を強化し事業拡大を図りたい。	指摘事項に対する改善状況	活動の実態を把握し、漁獲量向上に繋がる活動方法を確立する。
	細事業の課題・問題点	温暖化による海水温上昇による食害魚種の増加等により、アサリの漁獲量が激減している状況で、干潟回復・保全に向けてのアサリの種苗放流及び被覆網の管理は必要不可欠である。今後、事業の成果を検証しつつ、効果的な放流等を漁協と連携し実施する。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	干潟の保全と合わせ、アサリ等の資源の増殖に貢献する重要な事業と考える。	改善案	水産庁の交付金を活用した活動組織の干潟の保全活動に対して、引き続き支援する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 環境保護にもつながる重要な事業と考える。引き続き関係機関との連携を強化し事業拡大を図りたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700302
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(2)水産物の生産拡大

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
水産多面的機能発揮対策事業はスキームが変更され、さらに5年間継続される。今後新たに発生する大島干潟の保全など、活動組織を引き続き支援する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	741032	事務事業名	水産業振興施設整備事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)水産物の生産拡大			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	漁業近代化資金の活用、赤潮等漁業被害対策等の実施により、漁家や漁協等の経営基盤の強化を図ります。			25年度市民評価の満足度	【 水産業の振興 】 29.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 漁業者、市民	意図(どういう状態にしたい): 福川漁港福川南地区に活魚槽を整備することで、活魚出荷の推進及び道の駅などへの販路拡大による漁業経営基盤を強化する。	事業の内容 (手段)	活魚槽設置事業費に対する補助金交付		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	活魚槽設置事業費に対する補助金交付						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】							直接事業費	千円	45,000				
事業目標	目標名	活魚槽整備進捗率	計算式	実施済事業費/年度事業費	単位	%	事業費	(予算額) うち一財	千円	45,000				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	6,034	40,000		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値		46,034.0					(決算額) うち一財	千円	6,034	40,000			
	実績値		6,034.0	40,000.0				正職員人件費	千円	2,198	740			
	達成度(%)		1.5%	98.5%				人工数	人	0.30	0.10			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	水産業振興施設整備事業費 (施設等整備事業)	漁業者、市民	効果的な漁場整備を行うことで水産資源の増殖を図る。	活魚槽整備事業費の一部を補助する	補助金交付(繰越明許費)	正職員	直接事業費	委託	臨時嘱託				
	□ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		水産資源の維持・増加等の検証が難しい。				0.1	40,000	否	否				
	細事業の課題					A	改善案	道の駅等への活魚の出荷に対し有効な施設整備を支援する。						
	②													
細事業の課題	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	未利用となっている福川漁港福川南地区の利用促進を図るため、H25年度に漁協が建設する活魚槽整備事業に対し補助する。	前年度までの指摘事項	適正な補助金の交付	指摘事項に対する改善状況	適正な補助金の交付
	細事業の課題・問題点	適正な補助金の交付		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	適正な補助金の交付	改善案	同左

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な補助金の交付

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700302
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(2)水産物の生産拡大

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	742005	事務事業名	漁港管理事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 魅力のある漁村づくりと環境整備			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	道路整備や防犯灯の設置を行い、漁村地域の環境の改善を図ります。			25年度市民評価の満足度	【 水産業の振興 】 29.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 漁業者	意図(どういう状態にしたい): 漁港の使用に関し不便のないよう適正な管理を図る。	事業の内容 (手段)	各漁港施設の管理、修繕、施設使用・占用の許認可		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	漁港施設の管理、修繕及び施設使用・占用の許可。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	12,962	12,024	11,245	33,226
							(予算額) うち一財	千円	11,354	10,424	9,943	31,924	13,924	
事業目標	目標名	被災船舶数	計算式	記録、聞き取り	単位	隻	直接事業費	千円	12,965	11,480		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	11,946	8,998		漁業活動に支障のある施設を集中的に改修するため。	改修必要施設を精査したため。	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	正職員人件費	千円	6,593	5,177	1.00			
	実績値	0.0	0.0	0.0			人工数	人	0.90	0.70				
	達成度(%)	0.0%	0.0%	0.0%			支出コスト	千円	決) 19,558	決見) 16,657				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	漁港管理事業 (施設等管理運営事業)	漁港利用者、市民	円滑な漁業活動の支援による水産業の活性化	各漁港における漁港施設等の維持管理	・浄化槽等の維持管理委託 ・施設等修繕工事	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.6	0	10,867	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 漁港施設の老朽化等による維持管理コストの増加。					B	改善案	きめ細かい点検管理により維持管理費の削減を図る。					
	②	山口県漁港漁場協会都濃支部 (経常的事務事業)	漁業者	水産業の振興を目的とした山口県漁港漁場協会都濃支部事務局の運営	漁港漁場協会都濃支部総会開催、各種研修会事務	・負担金交付 ・事務局運営	0.1	0.2	613	否	可			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 山口県漁港漁場協会都濃支部の適正な運営を図る。					B	改善案	山口県漁港漁場協会に対し負担軽減を要望する。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	漁師の数は年々減少しているが、現時点で漁港の必要性には変わりない。	前年度までの指摘事項	長寿命化計画に沿った適切な管理・運営を進め、経費削減に努める。	指摘事項に対する改善状況	引き続き、効率的な管理・運営に努める。
	細事業の課題・問題点	4漁港ある漁港施設に係る修繕等の維持管理費が年々嵩む傾向にある。今後も引き続き、点検台帳等の整備やきめ細かい管理により、維持管理コストの削減を図る。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	引き続き効果的な管理・運営に努める。	改善案	計画的な保守・修繕等を進め維持管理経費の削減に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 長寿命化計画に沿った適切な管理・運営を進め、経費削減に努める。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700304
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(4)魅力ある漁村づくりと環境整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
漁港の使用上不便が生じている施設に対し、必要性和優先順位を考慮した上で改修工事を実施するとともに、長期的な視点にたつてコスト削減を目指す必要がある。平成28年度当初予算としては前年度と比較して21,981千円増となっているが、漁業活動に支障のある箇所を集中的に改修するためであり、この事業を行うことで、安定した漁業活動の実施が可能となる。

備考



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	742011	事務事業名	漁港海岸保全施設整備事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 魅力のある漁村づくりと環境整備			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	安心で安全な居住環境を確保するため護岸の改修や嵩上げ等の高潮対策事業を計画的に実施します。			25年度市民評価の満足度	【 水産業の振興 】 29.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 漁業者、市民	意図(どういう状態にしたい): 平成11年の台風で高潮により被災(床下浸水27戸)したため、老朽化した現在の護岸を嵩上げ等改修することで、住民の人命・財産と国土の保全を図る。西樹地区から新田地区を整備してきたが、引き続き地元要望のあった温田地区護岸工事を行う。	事業の内容 (手段)	鋼管矢板・鋼矢板を堤体に、コンクリート護岸を上部に築造することで、道路幅員の拡幅も同時に図る。H24～排水機場建設用地築造工事(補助割合:国1/2、県1.7/10)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	護岸工事予定総延長2,282m 平成26年までに護岸延長2,055m完了						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	120,526	152,073	260,074	181,772
事業目標	目標名	護岸工事等進捗率		計算式	実施済事業費/年度事業費		単位	%					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	事業費						
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	直接事業費	千円	88,752	191,485	対27年度増減理由		対28年度増減理由
	実績値	100.0	100.0	100.0			(決算額) うち一財	千円	10,752	11,447	福川漁港の事業が平成28年度完了のため。		給大島漁港の事業を新規に実施するため。
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			正職員人件費	千円	8,790	9,614			
							人工数	人	1.20	1.30	0.90		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	① 漁港海岸保全施設整備事業 (施設等整備事業)		漁港利用者、市民	福川漁港区域内の海岸を波浪・高潮等の被害から守る。	排水機場用地の埋立工事	・埋め立て工事	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
							1.3	0.2	191,485	否	否		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 海岸高潮による被害防止のため必要な事業である。			A	改善案	効率的な工程管理等を実施する。					
	②												
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	実施計画事業であり、内容を精査の上引き続き事業を行う。西樹及び新田地区は終了するが、国の補助事業として温田地区を整備していく。	前年度までの指摘事項	適切な施工管理により早期完成を目指す。	指摘事項に対する改善状況	引き続き実施計画として、事業を実施する。
	細事業の課題・問題点	福川漁港温田地区の海岸高潮防止対策として有効な事業である。今後も引き続き、効率的な工事管理により早期の完成を目指す。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	国費等の補助事業を活用し早期の整備を目指す。	改善案	埋め立て等の工事が増加するが、適切な施工管理に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適切な施工管理により早期完成を目指す。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400104
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(4)安心・安全な漁村づくりと漁港整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
福川漁港の事業の最終年度であるため、引き続き計画的に事業を進める。平成28年度当初予算としては、内容を精査した結果、前年度と比較して78,302千円減となった。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	742040	事務事業名	漁港建設県事業負担金	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 魅力のある漁村づくりと環境整備			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	安心で安全な居住環境を確保するため護岸の改修や嵩上げ等の高潮対策事業を計画的に実施します。			25年度市民評価の満足度	
		【 水産業の振興 】	29.20%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 漁業者、市民、漁港利用者	意図(どういう状態にしたい): 県が行う漁港建設事業に対する地元自治体負担金で、事業費の一部を負担する。	事業の内容 (手段)	県が行う漁港建設事業に対する地元自治体負担金で、海岸保全施設整備高潮対策事業費の10%及び県単独漁港建設改良事業費の40%を負担する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	徳山漁港居守地区について、潮位上昇等に対応するため、護岸、胸壁、水門を整備する県事業に対する負担金。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	25,800	20,800	10,800	10,500								
事業目標	目標名	浸水等被災戸数	計算式	記録、聞き取り	単位	戸	(予算額) うち一財	千円	3,300	2,800	3,600	4,200		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	28,103	13,019		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(決算額) うち一財	千円	6,503	1,519				
	実績値	0.0	0.0	0.0			正職員人件費	千円	733	740				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.10	0.10	0.10			
							支出コスト	千円	決) 28,836	決見) 13,759				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 県事業負担金交付 (施設等整備事業)		漁港利用者、漁業者、市民	徳山漁港区域の海岸を波浪や高潮等の被害を防ぎ、地域住民の安心・安全を図る	徳山漁港区域の海岸を波浪や高潮等の被害を防ぎ、地域住民の安心・安全を図る	県事業に対する負担金の支払い	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.1		13,019	否	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 海岸高潮事業としての県事業負担金である。				B	改善案	県との協議により事業の進捗状況等を把握する。					
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成19年度から事業化されている。	前年度までの指摘事項	県事業であっても実施内容等について積極的に連絡・調整を図る。	指摘事項に対する改善状況	引き続き実施計画として、事業を実施する。
		細事業の課題・問題点	徳山漁港(居守地区)の海岸高潮事業として有効な県事業負担金である。今後も引き続き、県との連絡・協議を密にし事業の進捗状況を把握し、早期完成を県に要望する。	事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	徳山漁港区域の地域住民の安心安全のため、引き続き事業を実施する。	改善案	引き続き県と事業内容の協議・検討を図る。
----	---	--	------	----------------------------------	-----	----------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	県事業であっても実施内容等について積極的に連絡・調整を図る。
----	---	--------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400104
分野	4安心安全
基本施策	1災害に強いまちづくりの推進
推進施策	(4)安心・安全な漁村づくりと漁港整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
徳山漁港の高潮対策事業は平成28年度で完了予定であるが、今後は施設の長寿命化計画の策定や水域施設の保全計画を策定する。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	742051	事務事業名	水産物供給基盤機能保全事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 魅力のある漁村づくりと環境整備			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	安心で安全な居住環境を確保するため、護岸等の補修を計画的に実施します。			25年度市民評価の満足度	【 水産業の振興 】 29.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 漁業者	意図(どういう状態にしたい): 漁港施設の適正な管理と整備を行うため、漁港施設の現状を診断して、維持改修費の軽減と平準化を目的とした長寿命化計画を策定し、計画的に補修工事を実施する。	事業の内容 (手段)	長寿命化計画を策定し、計画に沿った施設改修工事等を実施する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・大津島(馬島)漁港の防波堤の改修のため、既に策定されている長寿命化計画に基づき、詳細調査を実施し改修工法を決定した。 ・同防波堤延長L=150mの内39.8mについて改修工事を発注した(※前払金のみ支払い繰越)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	17,500	101,100	101,042	171,261		101,000						
事業目標	目標名	長寿命化計画に基づく施設改修	計算式	改修延長/対象施設延長	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	9,000	21,100	3,042	25,561	6,000
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	10,850	23,902				
	目標値	0.0	0.0	40.0	95.0	150.0	(決算額)	うち一財	千円	900	1,373			
	実績値	0.0	0.0	0.0			正職員人件費	千円	8,790	6,656				
	達成度(%)	0.0%	0.0%	0.0%			人工数	人	1.20	0.90	0.60			
							支出コスト	千円	決) 19,640	決見) 30,558				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	水産物供給基盤機能保全事業(改修工法の決定) (施設等整備事業)	漁業者	漁港施設の保全による漁業活動の支援	漁港施設の保全について改修費及びライフサイクルコスト削減の観点から適正な改修手法を決定する。	業務委託を発注し、詳細調査により施設の現状を把握し適正な改修工法を決定した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.3	0.1	6,236	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 同年度に改修工法の決定と改修工事を行う予定としていたが、詳細調査の結果、老朽化の進行が著しく、改修工法が当初想定から変更となった。そのため、改修工法及び改修計画を見直す必要が生じ、当初今年度計画していた延長の改修が困難となった。					A	改善案	類似施設について工法等の決定過程を長寿命化計画に反映させ、計画的に改修工事を実施するとともに、全体の維持改修費の削減を目指す。					
	②	水産物供給基盤機能保全事業(改修工事の実施) (施設等整備事業)	漁業者	漁港施設の保全による漁業活動の支援	長寿命化計画及び決定された改修工法により防波堤施設の改修工事を実施する。	施工延長L=150mの内39.8mについて工事を発注(前払金のみ支払い繰越)	0.6	0.1	17,666	否	否			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 同年度に改修工法の決定と改修工事を行う予定としていたが、詳細調査の結果、老朽化の進行が著しく、改修工法が当初想定から変更となった。そのため、改修工法及び改修計画を見直す必要が生じ、当初今年度計画していた延長の改修が困難となった。					A	改善案	類似施設について改修工法決定の際に検討した各工法毎の改修工事費を照査し、今後の改修予定施設並びに長寿命化計画に反映させ、計画的に改修工事を実施するとともに、全体の維持改修費の削減を目指す。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
		④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	周南市が管理する4漁港のうち、平成24年度に大津島漁港において長寿命化計画を策定した。この計画に基づき同漁港の老朽化の進行した防波堤について平成26年度から改修工事を実施している。また平成25年度には裕大島漁港で長寿命化計画を策定しているが、福川漁港・戸田漁港については未策定の状態である(平成28年度に策定予定)。	前年度までの指摘事項	財政負担の軽減も視野に入れた効率的な計画策定及び保全工事の実施に努める。	指摘事項に対する改善状況	引続き実施計画にのっとり、事業を実施する。
	細事業の課題・問題点	同年度に改修工法の決定と改修工事を行うことは、予算上の制約や発注遅延による事業効果の発現遅延などの問題があるとともに、効果的・効率的な改修を長期的な視点から計画的に実施していくうえで支障がでる可能性がある。そのため、計画的に事業を実施するにあたり、必要に応じ改修工法の決定を実際の改修工事の前年度に実施するなど、改修計画を整理・検討する必要がある。		事業全体の課題・問題点	成28年度には周南市が管理する全ての漁港で長寿命化計画が策定されることになり、将来的な漁港の利用について予測しつつ、優先順位をたて事業を実施する必要がある。また、それぞれの施設において改修工事実施の際には類似施設について工事の費用等を適正に長寿命化計画に反映させる必要がある。	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	長寿命化計画に基づき、優先順位を踏まえながら市内全体の老朽化した漁港施設の改修を実施することは、維持管理費を削減するとともに安定した漁業活動を行う上で必要な事業であるといえる。	改善案	平成28年度には周南市が管理する全ての漁港で長寿命化計画が策定されることになり、将来的な漁港施設の利用について予測しつつ、優先順位をたて事業を実施する必要がある。
----	---	--	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	財政負担の軽減も視野に入れた効率的な計画策定及び保全工事の実施に努める。
----	---	--------------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	700304
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(4)魅力ある漁村づくりと環境整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

より計画的に施設の補修工事を実施するために、漁港施設の現況調査等を新規で行う。平成28年度当初予算としては前年度と比較して70,219千円増となっているが、長寿命化計画を策定する上で必要な事業であり、これら事業の結果、将来発生する維持改修費の軽減と平準化を図ることが出来る。

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	743003	事務事業名	長田フィッシャリーナ管理事業	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 魅力のある漁村づくりと環境整備			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	漁船とプレジャーボートの利用調整のためフィッシャリーナ施設を充実し、長田海浜公園海水浴場等の水産資源を活用した多様な利用を進め、開かれた魅力のある漁村を目指します。			25年度市民評価の満足度	【 水産業の振興 】 29.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 浮棧橋利用者	意図(どういう状態にしたい): プレジャーボートの適正な管理を促し、海洋レジャーを通じて憩いの場を提供する。	事業の内容 (手段)	漁船とプレジャーボートとの調整及び棲み分けを図るため、プレジャーボート専用の係留施設の維持管理を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	H18年に浮棧橋が一部破損した。復旧工事の後、係留可能隻数72隻。H21年度から一般開放し、現在14隻が利用。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	1,554	2,667	2,383	2,284		2,383						
事業目標	目標名	利用隻数	計算式	年度当初の係留数	単位	隻	(予算額) うち一財	千円	0	316	192	0	0	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,854	2,454		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	72.0	72.0	72.0	72.0	72.0	(決算額) うち一財	千円	0	280				
	実績値	19.0	18.0	16.0			正職員人件費	千円	2,198	3,698				
	達成度(%)	26.4%	25.0%	22.2%			人工数	人	0.30	0.50	0.50			
							支出コスト	千円	決) 4,052	決見) 6,152				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 漁港管理事業 (施設等管理運営事業)		浮棧橋利用者	福川漁港使用調整事業で整備したフィッシャリーナを適正に管理する。	長田フィッシャリーナの利用申請・許可及び維持管理	・申請受付及び許可、使用料徴収 ・施設等点検	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
	②													
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 県内のプレジャーボート登録数減少に伴い、施設利用者数も伸び悩んでいる状況である。老朽化等に伴い施設の維持管理費が年々増加している状況である。				B	改善案	市ホームページ等により積極的なPRを図り施設利用者数の増加を目指す。また、効率的な維持管理により維持管理コストの低減を図る。					
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	経済情勢に影響を受けやすく、最近ではプレジャーボート所有者の減少により、棧橋利用者も減少している。	前年度までの指摘事項	積極的なPR等により利用者の増加を図る。 (議会決議)利用率低迷の調査・分析、利用者獲得のPRや料金等の見直しにより収支改善、民間委託等の検討が必要	指摘事項に対する改善状況	市ホームページ等でPRを行うとともに、施設構造の精査を実施し動力付ヨット等受入可能な船種の拡大や受入条件の緩和により短期使用も可能とし利用促進を図った。
	細事業の課題・問題点	レジャーの多様化や経済状況により、プレジャーボート所有者自体が減少傾向にあり、棧橋の新規申請者が少ない状況である。浮棧橋という特殊施設であること及び修繕コスト削減の意味から、専門業者による点検を行い、施設の老朽化による修繕箇所及び費用の増加を抑えているが、風波の影響を受けやすい立地であるため根本的な解決に至っていない。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	漁船とプレジャーボートの利用調整のため必要な事業である。今後、引き続き利用促進を図る。	改善案	維持管理経費削減に向けた適切な管理・運営に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	積極的なPR等により利用者の増加を図る。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700304
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(4)魅力ある漁村づくりと環境整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
本事業は歳入額(使用料)の範囲で行うべきものであるため、今後は歳入に応じた維持管理を継続的にやっていく。

備考



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	経済産業部 水産課	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	743005	事務事業名	長田海浜公園管理事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産と消費の拡大により水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 魅力のある漁村づくりと環境整備			【 水産業の振興 】	20.10%
	推進施策の展開	漁船とプレジャーボートの利用調整のためフッシャーナ施設を充実し、長田海浜公園海水浴場等の水産資源を活用した多様な利用を進め、開かれた魅力のある漁村を目指します。			25年度市民評価の満足度	【 水産業の振興 】 29.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 公園利用者(市民及び市外からの来訪者)	意図(どういう状態にしたい): 平成2年に開園して以来、年間を通じて市内外から多くの利用者があり、特に海水浴シーズンには例年約4千人程度の利用があるが、海に親しむ海浜公園として更なる利用を促進する。	事業の内容 (手段)	一年を通じトイレ清掃、海水浴シーズンの海の家等の管理・運営及びサメ網・遊具の設置・撤去について、漁協への管理委託等により適切な管理運営及び施設の維持管理を図る。なお、「海の家」の設置及び撤去費用に対し補助金を交付している。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	漁協に海水浴場開設期間中の公園管理と海を家の運営を委託。一年を通じ草刈、清掃、照明灯やベンチの補修等の管理により、快適な憩いの空間を提供。					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
							直接事業費	千円	1,554	9,937	8,876	12,853	8,876			
事業目標	目標名	公園利用者(市民・市外)	計算式	海水浴場利用者数+10,000	単位	人	(予算額) うち一財	千円	0	9,925	8,864	12,841	8,864			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	8,769	10,837		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
	目標値	17,500.0	17,500.0	17,500.0	17,500.0	17,500.0	(決算額) うち一財	千円	8,755	10,830		海を家の老朽化に伴い、来場者の安全に配慮し、資材を補助金で賄うこととしたため。				
	実績値	14,400.0	13,600.0	12,800.0			正職員人件費	千円	3,663	4,437	0.60					
	達成度(%)	82.3%	77.7%	73.1%			人工数	人	0.50	0.60						
							支出コスト	千円	決) 12,432	決見) 15,274						
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否					
	① 海水浴場運営委託 (施設等管理運営事業)		海水浴場利用者	海水浴場開設期間中の海を家の運営を支援することで市民に快適な余暇を提供する	海水浴場管理委託契約、海の家設置及び撤去費補助金の交付	・養浜整備工事 ・海の家設置・撤去補助金交付	正職員	0.2	臨時等	0	直接事業費	6,385	委託	否	臨時嘱託	否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 レジャーの多様化等により海水浴場利用者数が伸び悩んでいる。				B	改善案	積極的なPRにより海水浴利用者数の増加を図る。							
	② 公園維持管理業務 (施設等管理運営事業)		公園利用者	長田海浜公園を適正に管理し市民に憩いの場を提供する	長田海浜公園管理運営業務委託締結	・業務委託	正職員	0.4	臨時等	0	直接事業費	2,384	委託	否	臨時嘱託	否
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 老朽化による施設修繕費等の維持管理費が年々増加している。				B	改善案	定期的な点検等によるきめ細かな維持管理により維持管理コストの低減を図る。								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	レジャー多様化の影響で海水浴客が減少傾向にある。しかし、市民の憩いの場として年間を通じて利用されている。以前に比べ管理経費が下がり、それに見合った管理を実施。		年間を通じ市内外から多くの利用者がおり必要な事業である。今後、引き続き適切な維持管理を実施する。	管理コストの一層の削減を図る。
	海水浴期間中はポスター掲示やホームページ等により積極的にPRしているが、海水浴場利用者数が年々減少傾向にある。海の家の運営方法の検討や遊具等の施設の充実等により利用者数の増加を図る必要がある。		同左	

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	維持管理コストの軽減に向けた適切な管理・運営を実施する。  改善案 業務委託経費の一層の見直しに努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 年間を通じ市内外から多くの利用者がおり必要な事業である。今後、引き続き適切な維持管理を実施する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700304
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(4)魅力ある漁村づくりと環境整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度は海水浴場の告知等を積極的に行い、5年ぶりに利用者が増加したことに伴い海の家の運営や監視にかかるコストも増加。委託先と協議し利用者の安全に関する費用について見直しを行った。 平成28年度は老朽化の著しい海の家の資材をリニューアルすること、海域の監視を強化することにより、さらに安心して快適な環境を提供し利用者の増加を図る。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	水産課水産物市場	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	751011	事務事業名	水産物市場管理一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 07地方卸売市場事業特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産・消費の拡大による水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 水産物の消費拡大			【水産業の振興】	20.10%
	推進施策の展開	水産物の安定供給に向けた水産物市場の効率的な運営を行うため、老朽化した施設や設備の整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
		【水産業の振興】	29.20%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 安心・安全な水産物の安定供給。		意図(どういう状態にしたい): 市民に安心・安全な水産物を安定的に供給。 (市場取扱高 H27目標:11億円)		事業の内容 (手段)	●市場の安定存続のため、法令遵守の励行と運営管理を実施。 ●市場の適切な運営のため、卸売業者、仲卸業者、買参人組合との調整。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	市民に安心・安全な水産物を安定的に供給。 26年度実績=1,131,905kg						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	2,122	2,002	1,972	1,958		2,039						
事業目標	目標名	水産物市場取扱高(千円)	計算式	売上年間実績金額/売上年間目標金額	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	636	600	591	587	611
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,911	1,900		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1,470,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	(決算額)	うち一財	千円	573	570			
	実績値	1,112,471	1,086,766	1,057,624			正職員人件費	千円	3,663	3,698				
	達成度(%)	75.7%	98.8%	96.1%			人工数	人	0.50	0.50	0.50			
							支出コスト	千円	決) 5,574	決見) 5,598				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	管理一般事務 (経常的事務事業)	周南市が行う管理運営事業。	市民に安心・安全な水産物を安定的に供給するために市場を適切に運営する。	法令遵守の励行と健全な運営管理を実施する。	卸売業者、仲卸業者、買参人組合との調整を図り、市場の適切な運営を継続している。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.50	0	1,900	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 ・高齢化や水産物市場の環境変化等による就漁者の減少が登録買参人の減少。 ・流通の多様化による水産物市場の取扱量・金額の減少。					B	改善案	年々減少する市場取扱高に対し卸売業者、仲卸業者、買参人組合と協力し、水産物の消費拡大を図る。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④		細事業評価		改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	水産物の取扱高が年々減少しつつあるが、市民に安心・安全な水産物を安定的に供給している。	前年度までの指摘事項	取扱高が年々減少する中で水産物を安定供給、市場の活性化にどう対応していくか課題を把握し、対策を検討する必要がある。	指摘事項に対する改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>卸売業者、仲卸業者、買参人組合と協力して水産物の消費拡大を図る。</li> <li>魚食普及活動に努める。</li> </ul>
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会情勢の変化や漁業従事者の高齢化等、新規就漁者問題。</li> <li>流通の多様化による水産物市場の取扱量・金額の減少。</li> </ul>		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	市場は生鮮食料品の流通には不可欠であり、今後も市民に安心で安全な水産物を安定的に供給するために継続して実施する必要がある。	改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業従事者や売買参加者の減少に対し、山口県漁協や買参人組合に新規参入者を促していく。</li> <li>水産物の消費拡大につながるようなイベントや魚食普及活動等を検討していく。</li> </ul>

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 市場を取り巻く状況の変化があるの中で、市場の活性化を図るために関係者が課題を把握し、対策を検討する必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	700303
分野	7産業・観光
基本施策	3水産業の振興
推進施策	(3)水産物の消費拡大

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
市場運営に必要な経費の見直しを行った。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	水産課水産物市場	評価者 (課長)	大野 秀生	評価責任者 (部長)	弘中 基之
事務事業コード	751014	事務事業名	水産物市場施設維持管理費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 07地方卸売市場事業特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VII 産業・観光	節(まちの姿)	VII1 活力ある産業のまちで暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VII13 水産業の振興	基本方向	水産物の生産・消費の拡大による水産業の振興を図るとともに、漁村地域の生活環境の整備を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 水産物の消費拡大			【水産業の振興】 20.10%	
	推進施策の展開	水産物の安定供給に向けた水産物市場の効率的な運営を行うため、老朽化した施設や設備の整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【水産業の振興】 29.20%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市場施設の維持管理	意図(どういう状態にしたい): 必要最小限度の計画的な修繕や機械設備保守管理委託を行い、老朽化に伴う施設維持管理のコスト削減を図る。 (修繕必要件数 H26目標:20件)	事業の内容 (手段)	●施設の老朽化に伴う施設維持管理費のコスト増加に対する計画的な修繕等を実施。 ●機械設備等の維持管理のため専門業者による設備管理業務委託を実施。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	施設の迅速かつ適切な修繕により、維持管理を行い市場の継続開場を図る。 (26年度修繕実績=21件)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	22,535	24,866	25,079	22,316
事業目標	目標名	修繕必要件数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	8,141	10,758	11,232	6,694	10,911
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	21,544	23,738		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	20	20	20	20	20	(決算額)	うち一財	千円	4,584	6,751	27年事業に「第2次耐震構造調査委託料」が発生したため。28年度は、対前年100万を超える減額となった。		
	実績値	32	20	21			正職員人件費	千円	3,663	3,698	0.50			
	達成度(%)	160.0%	100.0%	105.0%			人工数	人	0.50	0.50				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 施設維持管理 (施設管理運営事業)		周南市が行う管理運営事業。	施設の老朽化に伴う施設維持管理費のコストを抑制する。	必要最小限度の修繕等を計画的に行う。	定期的な機械設備の保守管理のもと、計画的な修繕を実施し市場開場の継続に資する。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
							0.50	0	23,738					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 老朽化に伴う修繕費及び修繕箇所増加。				B	改善案	機械保守管理委託業者との調整や連携を図り、必要最小限度の修繕等を計画的に行う。					
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限度の維持管理を行い、安定的な市場の開場を継続している。平成26年度に建物の耐震診断を行い、平成27年度以降、建物の耐震構造の強化を図る。	前年度までの指摘事項	施設が老朽化していることや、新南陽地域に確保している漁港用地のこともあり、今後の方向性を早急に検討する必要がある。	指摘事項に対する改善状況	新南陽地域に確保している漁港用地への市場移転は困難であり、現市場が地域に根差していることから、市場の機械設備等、定期的な保守点検及び計画的な修繕を行い、現市場の継続利用していく。
	細事業の課題・問題点	昭和54年に開設し、施設の老朽化が進んでいるが、平成19年に幾多の協議を重ねて徳山・新南陽・櫛ヶ浜・下松地区の4市場が周南市水産物市場に統合された経緯があるため、現市場からの移転は非常に難しい問題である。しかしながら市場の機能低下や衛生管理等の状況、耐震診断の結果により、将来的には建替えもしくは移転の検討が必要である。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	施設は老朽化し維持管理には相当の修繕を要するが、市民に安心・安全で安定的に水産物を供給していくためには必要な施設である。	改善案	機械保守管理委託業者との調整や計画的な修繕を行うことで施設の長寿命化を図り、突発的な修繕の件数を減少させることにより施設維持管理にかかるコストを抑えていく。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	維持管理コストを抑えながら業務継続をしていくが、市場の機能低下や衛生管理等の状況及び耐震診断結果などから将来的には建替え等の検討が必要である。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	700303
分野	7産業・観光
基本施策	3水産物の振興
推進施策	(3)水産物の消費拡大

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
老朽化に伴い、必要最小限度の修繕を見積り、コスト削減及び見直しを行った。	

備考

備考	
----	--